

経済・金融 フラッシュ

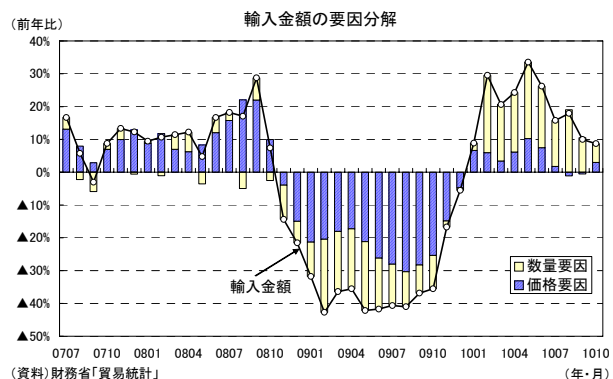
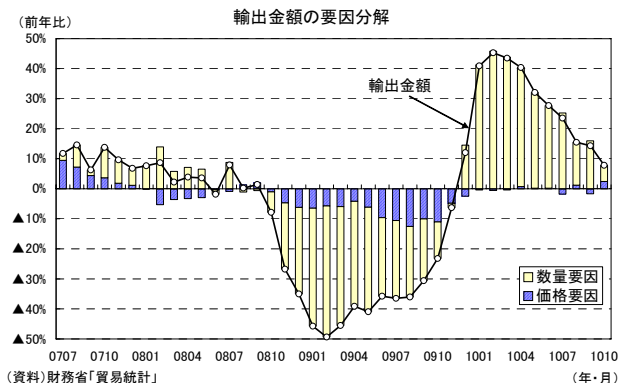
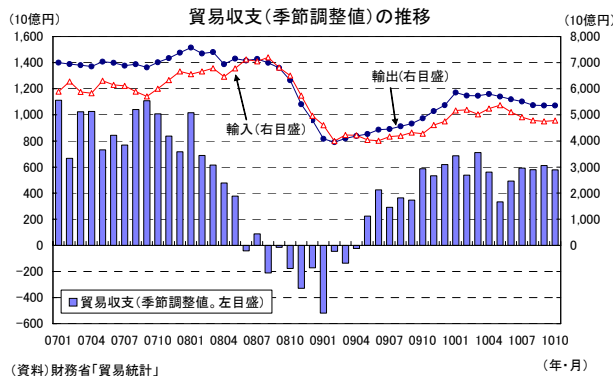
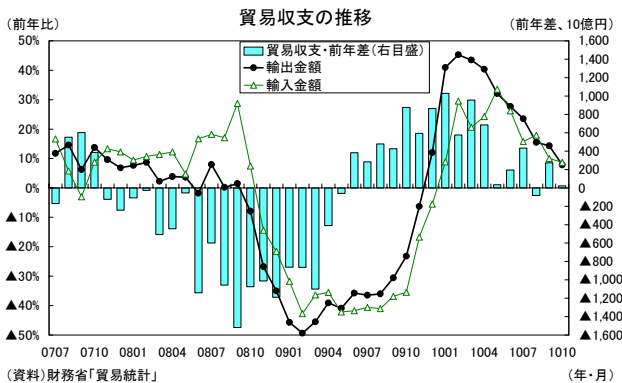
貿易統計 10年10月 ～輸出の減速傾向が一段と強まる

経済調査部門 主任研究員 斎藤 太郎
TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 輸出の伸びが大幅に低下

財務省が11月25日に公表した貿易統計によると、10月の貿易収支は8,219億円の黒字となり、事前の市場予想（共同通信集計：8,804億円、当社予想は9,167億円）を若干下回った。貿易収支は2ヶ月連続で前年よりも改善したが、輸出の伸びが9月の前年比14.3%から同7.8%へと大きく低下したため、改善幅はわずか（前年比2.7%）にとどまった。輸入は前年比8.7%となり、9月の同10.0%から伸び率が低下したが、輸出の伸びを若干上回った。

季節調整済の貿易収支は5,785億円の黒字となり、黒字幅は前月の6,113億円から若干縮小した。輸入（季節調整値）は前月比0.7%と5ヵ月ぶりに増加したが、輸出は前月比▲0.0%と6ヵ月連続で減少した。



輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比 5.3% (9月：同 16.1%)、輸出価格が前年比 2.4% (9月：同▲1.5%) であった。輸入の内訳は、輸入数量が前年比 5.6% (9月：同 10.5%)、輸入価格が前年比 2.9% (9月：同▲0.5%) であった。

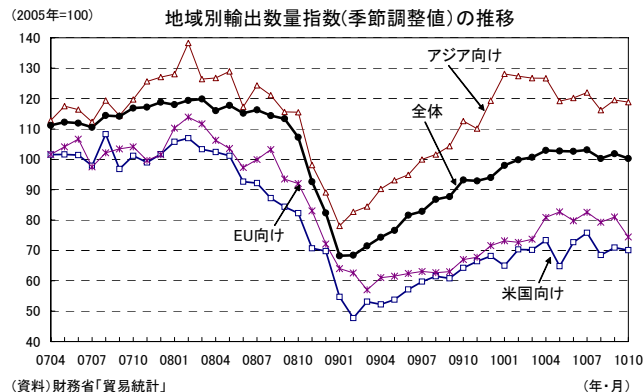
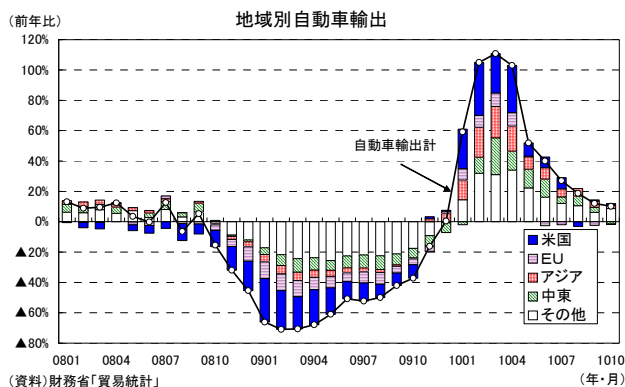
2. 輸出は全ての地域向けに大幅に減速

自動車輸出は前年比 10.2% となり、9月の同 12.0% から伸びが低下した。米国向け (9月：前年比 2.2% → 10月：同 3.2%) は若干持ち直したが、EU 向け (9月：前年比▲18.8% → 10月：同▲2.4%) が 5 ヶ月連続で減少し、アジア向け (9月：前年比 32.4% → 10月：同 16.7%) の伸びがほぼ半減となった。

10月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比 9.6% (9月：同 17.0%)、EU 向けが前年比 11.4% (9月：同 29.2%)、アジア向けが前年比 5.8% (9月：同 14.6%) となり、いずれの地域向けも伸びが大きく鈍化した。季節調整値 (当研究所による試算値) では、米国向けが前月比▲1.1%、EU 向けが同▲8.1%、アジア向けが同▲0.6%、全体では同▲1.6% となった。

一方、輸入数量指数 (季節調整値) は前月比▲1.2% と 2 ヶ月連続で低下した (9月は同▲3.1%)。輸入は国内需要の持ち直しを背景に比較的底堅い動きを続けてきたが、ここに来て弱めの動きとなっている。

海外経済の減速、円高の進展を背景として輸出は減速傾向を強めている。7-9 月期の GDP ベースの外需寄与度は前期比+0.0% となり、4-6 月期の同 0.3% からプラス幅が大きく縮小した。10-12 月期は輸出の伸びが 7-9 月期の前期比 2.4% から大きく低下することにより、外需寄与度は 7 四半期ぶりに前期比でマイナスとなる可能性が高いだろう。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。